事例No.	893
公表年度	R1
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県横浜市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・人材確保・育成

事例種類	海外展開事例

事例内容・タイトル

ＪＩＣＡボランティア制度を活用したマラウイ国ブランタイヤ水公社への職員派遣（マラウイ共和国）

出典

自治体水道事業の海外展開事例集

ＪＩＣＡボランティア制度を活用したマラウイ国ブランタイヤ水公社への職員派遣（マラウイ共和国）

海外展開事例
横浜市－１

概要

無収水の原因究明や対策をブランタイヤ水公社（以下BWB）職員が行えるように支援する。

内容

○　毎年４名のボランティアを６週間程度派遣し、水道事業の課題解決に貢献している。

○　派遣期間だけでなく通年にわたり、横浜市水道局全体からの有志で構成される国際協力専門委員会（Y-TAP）もサポートとして入り、BWBとコミュニケーションを取りながら、マニュアルの策定等を進めている。

【事業内容】

・漏水修理、データの蓄積、マップへの反映等を指導
・モデル地区にて漏水箇所、無収水率についてベースライン調査を実施
・料金管理、施工監理マニュアルの策定支援
・管網解析の指導
・電力量削減のためのエネルギーマップの作成
・小学生への啓発活動（出前水道教室）の導入支援　など



<施工監理の指導(H30.10）>



<出前水道教室の様子（H30.10）>

背景

・平成20年と平成25年に第4回、第5回アフリカ開発会議（TICAD Ⅳ・TICAD Ⅴ）を横浜で開催しており、第7回会議（TICAD7）も令和元年8月に横浜で開催。
・横浜では日本で「アフリカに一番近い都市」をスローガンに、技術協力や市民交流をはじめ、アフリカンフェスティバルなどのイベントも定期的に開催。
・また、平成27年には市会議員の有志による「日本アフリカ友好横浜市会議員連盟」が設立されるなど、市をあげてアフリカとの交流に力を入れている。

過程

【平成25年】TICADVにおいて、マラウイ大統領より林市長にマラウイのインフラ整備についての協力要請あり。
【平成26-28年】3年間派遣を実施。
BWBからの強い要請により、さらに３年派遣するための覚書を締結し、今年度は覚書の最終年度
【令和元年度】職員３名派遣

<関係ＨＰアドレス>
http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/kyoku/torikumi/kokusai-kyoryoku/africa.html